

MICROJET

ImmunoJet-1000



ピエゾインクジェット式 定量イムノクロマト分注装置

分注量のデジタルコントロールにより
大幅な精度UPと文字印刷を実現



吸い上げ式ピエゾヘッド搭載

業界初の新機能満載

特徴

- 1 ピエゾインクジェットによるバラツキのない均一なラインやドット
- 2 分注量を自動で測定する機能により、分注量を自在にデジタルコントロール
- 3 分注状態をCCDカメラによりモニタリングして、品質の安定化を実現
- 4 数字やアルファベットをマーキングする機能により識別が容易(オプション)
- 5 自動充填や自動メンテナンス機能を搭載し、簡易操作を実現
- 6 研究室での実験から生産現場まで使えるアップグレードシステムを採用



抗体による文字印刷例

用途例

- イムノクロマト法試薬の開発
- 試薬や抗体の分注実験
- 小ロット品の生産や大規模生産ラインの事前検討

分注エリア	MAX：100×300 mm
ヘッド数	標準：2 最大：4
適応粘度	0.5～40mPa・s
最少必要液量	0.2cc

※液種によっては安定吐出できない液があります。
※写真と実際の装置は異なる場合があります。
※仕様は予告なしに変更することがあります。

株式会社 マイクロジェット

長野県塩尻市大門五番町79-2 TEL 0263-51-1734 FAX 0263-51-1735 <http://www.inkjet-bio.com> sales3@microjet.co.jp

イムノクロマト用分注装置 ImmunoJet-1000 概仕様

機種名	ImmunoJet-1000
装置構成	本体(XYZ軸自動制御)、タッチパネルモニター、専用アプリケーション
装置サイズ	W750×D380×H410[mm] ※突起部除く
分注ノズル	ピエゾ式1ノズルインクジェットヘッド 2個 (オプションで最大4個まで搭載可能)
分注モード	準備可能液量により、 極微量モード(150ul程度)、微量モード(600ul程度)、タンクモード(1cc以上)から選択
分注パターン	ライン、ドット、文字(数字、アルファベット、記号)から選択
分注量	0.1~2 μ L/cm(ライン分注時)、標準容器で1ライン30ulとして最大100枚以上の塗布可能 (タンクモード運用時)
分注量測定	内蔵の測定器による自動測定 (オプション)
分注量コントロール	タッチパネル上で、0.1ul刻みで任意設定 (オプション)
分注に必要な最少液量	150ul ※極微量モード運用時
吐出モニタリング機能	CCDカメラによりヘッドからの液滴吐出状態をモニタリング
適応粘度範囲 ※注1)	0.5~10mPa·s
吐出液	抗体、抗原、DNA溶液、試薬、タンパク溶液、細胞含有液、高分子液、ナノ粒子液(Au、Ag)など
試薬容器	専用チューブ、専用ガラス容器
分注エリア	100×300[mm]
テーブル移動速度	200mm/s (MAX) ※ライン幅によって上限速度が制限される
テーブル移動精度	X繰り返し位置精度 $\pm 20\mu$ m以内
メンブレンの固定	着磁固定テーブルまたは吸着固定テーブルより選択
電源・消費電力	单相AC100V \pm 10% 350VA以下
使用環境	15~30 $^{\circ}$ C 20~70%RH
その他オプション	メンブレン端への管理用数字やアルファベット、ライン分注位置のマーキング、 CCDカメラによる分注状態モニタリング・写真保存、分注履歴記録機能 等

※注1)液種によっては安定吐出できない液があります。

※上記仕様は予告なしに変更することがあります。